

臨床研究 オプトアウト申請

当院に脳梗塞で入院された患者さんへ

「急性期脳梗塞患者における居住形態と退院時機能予後の関連に関する後ろ向きコホート研究」について

1. 対象となる患者さんについて

2019年4月1日から2026年3月31日までに、東千葉メディカルセンターに発症から7日以内の脳梗塞で入院された18歳以上の患者さんのうち、発症前の日常生活動作が自立していた方（日常生活の自立度を評価する指標である modified Rankin Scale [mRS] 0～2）を対象としています。

2. 研究概要および利用目的について

目的：

本研究は、急性期脳梗塞患者さんにおいて、居住形態（独居または同居）の違いが退院時の回復の程度にどのように影響するかを明らかにすることを目的としています。本研究により、退院支援や地域医療連携の改善に役立つ知見が得られることが期待されます。

研究期間：

2026年7月14日から2029年3月31日まで

この研究は、当院倫理委員会の承認を受け、センター長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究機関および研究責任者、試料・情報管理者について

当院単独研究

<研究機関>：東千葉メディカルセンター

<研究責任者>：東千葉メディカルセンター 脳神経内科 大谷 龍平

4. 使用する情報

患者さんの診療録から、年齢、性別、既往歴、発症前 mRS、入院時重症度（NIHSS スコア：脳卒中の重症度を評価する指標）、脳梗塞の病型、治療内容、居住形態、退院時の状態（mRS、退院先）等の情報を収集させていただきます。

5. 試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法

他の機関への試料・情報の提供はありません。

6. 研究終了後の情報の保存および廃棄について

この研究に使用させていただいた患者さんの情報および本研究のために作成した資料等は、研究終了後5年間または最終研究発表後3年間のいずれか遅い日まで保存します。なお、情報を廃棄する際には、患者さん個人を特定できない状態で適切に廃棄します。

7. 個人情報の保護および研究成果の公表について

患者さんの診療録から収集させていただく情報は、個人を特定できる情報を削除し、匿名化した上で本研究に使用します。また、本研究の成果は学会発表や学術論文として公表される予定ですが、その際にも患者さんの個人情報に第三者に明らかになることはありません。

8. 研究計画書および個人情報の開示について

本研究の研究計画書や研究方法に関する資料は、他の患者さんの個人情報および知的財産権の保護に支障がない範囲で閲覧することが可能です。ご希望の場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。

また、本研究のために収集された患者さんご自身の情報についても、ご希望に応じて開示いたします（ただし、既に廃棄されている場合などは開示できないことがあります）。

9. 研究への情報使用の取り止め（不参加）について

本研究への情報の利用を希望されない場合には、研究対象から除外いたします。原則として研究結果の公表前であれば、情報の削除等の対応を行います。2029年3月31日までに、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。なお、取り止めを希望された場合でも何ら不利益を受けることはありません。

10. 問い合わせ窓口について

この研究の対象となる可能性がある方で、この研究に関するお問い合わせは、以下の担当者にお尋ねください。

【担当者】

東千葉メディカルセンター 総務課総務係

TEL 0475-50-1199 （内線：2149）

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいてHPに掲載しています。

※その他記載したいことがありましたら、こちらに記入してください。

--	--